

包括連携と協力に関する協定の審議

シーニックバイウェイ北海道推進協議会

令和4年 12月 22日



令和4年12月22日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

民間企業等との包括連携協定締結について

シーニックバイウェイ北海道推進の基本方針に基づき、シーニックバイウェイ北海道と民間企業等との効果的連携活動に関する提案を募集したところ、下記1社より提案書を受領した。

提案民間団体・企業及び提案内容について、ルート運営代表者会議又は指定された支援組織の推薦及びルート審査委員会の推奨を受けたことから、ここに包括連携協定を締結するものである。

【提案民間団体・企業名】：特定非営利活動法人北海道遺産協議会

提案内容：①PR：それぞれの取組の中で積極的に遺産やルートの紹介を行う（イベント時の連携等）
②教育：子供たちが地域の成り立ち（地域遺産、インフラ等）を学ぶ学習機会の提供
③観光：インフラツーリズム、ヘリテージツーリズムの取組

民間企業との包括連携協定

シーニックバイウェイ北海道は、競争力のある美しく個性的な北海道を実現していくことを目的として、民間団体・企業等と、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等地域資源を最大限活用し、双方の資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定制度を平成24年度より開始しました。

平成24年12月1日 (株)トヨタレンタリース札幌、(株)グランビスタホテル&リゾート札幌グランドホテル、北海道コカ・コーラボトリング(株)、Follow Me Japan.Pte.Ltd.との包括連携協定が締結される。
平成25年6月24日 (株)デンソーセールス北海道支社、鶴雅グループ(株)阿寒グランドホテルとの包括連携協定が締結される。
平成29年10月24日 (株)北海道日本ハムファイターズとの包括連携協定が締結される。
平成30年11月5日 (一社)北海道信用金庫協会、北海道地区「道の駅」連絡会、(株)知床グランドホテルとの包括連携協定が締結される。
令和3年7月15日 クリプトン・フューチャー・メディア(株)との包括連携協定が締結される。



民間団体・企業等との包括連携協定



Scenic Byway HOKKAIDO

▶平成24年12月1日、協定締結



トヨタレンタリース札幌



札幌グランドホテル



Follow Me Japan, Pte. Ltd.



北海道コカ・コーラボトリング

▶平成25年6月24日、協定締結



デンソーセールス
北海道支社



鶴雅グループ
阿寒グランドホテル



▶平成29年10月24日、協定締結



北海道日本ハムファイターズ



民間団体・企業等との包括連携協定



Scenic Byway HOKKAIDO

▶平成30年11月5日、協定締結



(一社)北海道信用金庫協会

▶令和3年7月15日、協定締結



クリプトン・フューチャー・メディア (株)

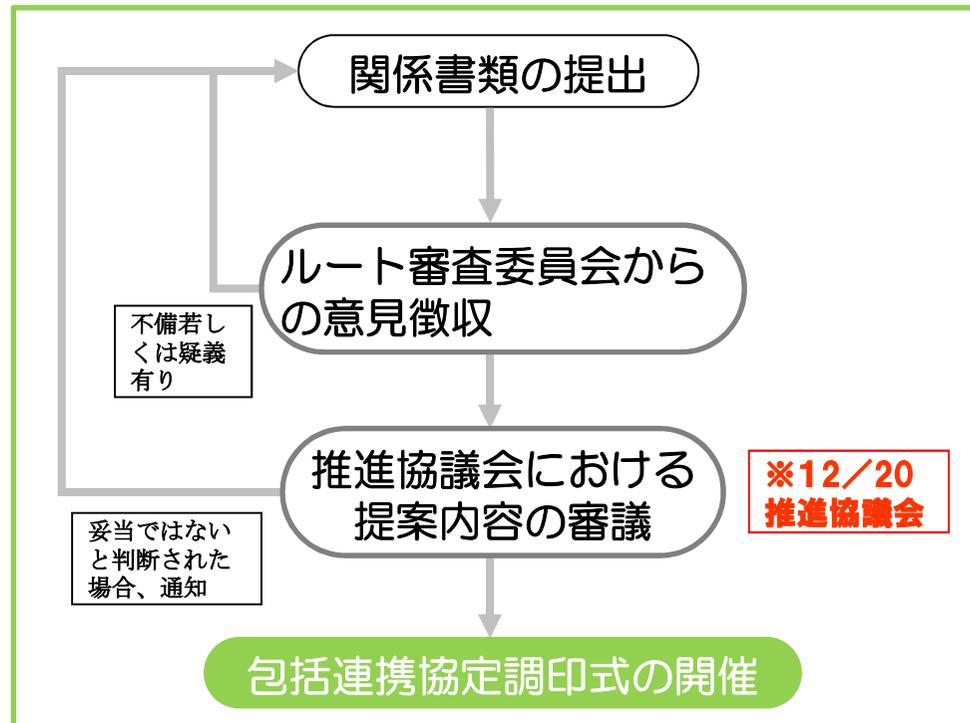


北海道地区「道の駅」連絡会



(株)知床グランドホテル

▼民間団体・企業等との包括連携協定締結までの流れ



様式1 「シーニックバイウェイ北海道と民間企業等との効果的連携活動に関する提案シート」

提案民間団体・企業等	<住所>〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3番地1 <名称>特定非営利活動法人 北海道遺産協議会 <代表者氏名>会長 石森 秀三		
連絡責任者	(役職) 事務局 (氏名) 萩 佑		
責任者所在地	同上		
電話番号	011-218-2858	FAX番号	011-232-4918
E-mailアドレス	hagi@northerncross.co.jp		

提案の種類① (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ①シーニックバイウェイ北海道による地域活性化に関する取組
	<input checked="" type="checkbox"/> ②シーニックバイウェイ北海道の広報及び啓発に関わる取組
	<input checked="" type="checkbox"/> ③シーニックバイウェイ北海道の人材育成やネットワーク形成に関わる取組
	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他、シーニックバイウェイ北海道の推進に関わる取組
提案の種類② (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ①美しい景観づくり
	<input checked="" type="checkbox"/> ②活力ある地域づくり
	<input checked="" type="checkbox"/> ③魅力ある観光空間づくり
事業実施希望時期	通年
推薦団体等名	(一社) シーニックバイウェイ支援センター
提案内容	<p>・北海道遺産は、豊かな自然はもちろん、北海道に生き、暮らしてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、次の世代へ大切に引き継ぎたい有形・無形の財産の中から選ばれたもので、平成13年に第1回選定分25件、平成16年に第2回選定分27件、平成30年に第3回選定分15件が選定され、現在67件が選定、現在、第4回選定実施中(10月発表予定)です。</p> <p>・選定されている北海道遺産にはシーニックバイウェイのルート上にあるもの、シーニックバイウェイ北海道ルートに関連するもの(稚内港北防波堤ドーム(稚内市)、天塩川、旭橋(旭川市)、小樽みなとと防波堤(小樽市)、昭和新山雪合戦(壮瞥町)、五稜郭と箱館戦争の遺構(函館市)、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群(上士幌町)など)も多く、両協議会の協定に基づくより一層の連携した取組により地域遺産の保全・関連地域の活性化に貢献します。</p> <p>連携テーマ例)</p> <p>○PR:それぞれの取組の中で積極的に遺産やルートの紹介を行う(イベント時の連携等)</p> <p>○教育:子供たちが地域の成り立ち(地域遺産、インフラ等)を学ぶ学習機会の提供※</p> <p>○観光:インフラツーリズム、ヘリテージツーリズムの取組</p>

※提出にあたっては、別紙の記載方法を参照してください。

様式2 「ルート運営代表者会議または指定された支援組織からの推薦状及び事業連携等の実績」

提案民間団体・企業等	<住所>〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3番地1 <名称>特定非営利活動法人 北海道遺産協議会 <代表者氏名>会長 石森秀三		
連絡責任者	(役職) 事務局 (氏名) 萩 佑		
責任者所在地	同上		
電話番号	011-218-2858	FAX番号	011-232-4918
E-mail アドレス	hagi@northerncross.co.jp		

推薦団体等	<名称> (一社) シーニックバイウェイ支援センター <代表者氏名> 代表理事 原文宏
-------	--

事業連携等の実績

連携期間	平成18年度～
連携内容	○第1回「大好きHOKKAIDO!観光プラン大賞」共催 (H18年度、H19年度) 「北海道遺産」「シーニックバイウェイ北海道」をめぐる旅行のプランを募集・選考し、旅行会社によるモデルツアー等を実施 (主催:北海道遺産構想推進協議会、シーニックバイウェイ支援センター 後援・協力:北海道開発局、北海道運輸局、北海道、北海道観光連盟) ※翌年第2回開催 ○「ほっかいどう遺産WAON」によるさっぽろサイクルラボの取組への助成 (H28年度) 「ほっかいどう遺産WAON」助成事業により、さっぽろサイクルラボ(シーニックバイウェイ支援センター、NPO法人ゆうらん、NPO法人エコ・モビリティサポロ、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク、サポロバイクプロジェクト)によるプロジェクト「北海道遺産を巡る都市型サイクリングマップの作成事業」へ助成を行った。 ○「お茶で北海道を美しく」キャンペーン (平成22年度～継続中) 企業連携として、(株)伊藤園とコラボし「お茶で北海道を美しく」キャンペーン期間中の売上の一部を北海道遺産に選定されている地域の自然環境保全活動に寄付。(株)伊藤園社員の協力により、シーニックバイウェイルートで行われる清掃ボランティア活動等を実施。(洞爺湖周辺(洞爺湖町・壮瞥町ほか)・霧多布湿原(厚岸郡浜中町)) ○第3回選定、第4回選定に関わる審査員参画 (平成30年度～継続中) 観光、地域振興、歴史・文化、建築、経済活動等の各分野の専門家、協議会理事、選定ワーキンググループ等を構成して第3回選定、第4回選定の各種審査等を実施。選定ワーキンググループメンバー【観光・まちづくり】分野として、ルートコーディネーターに参画依頼。

上記、「提案民間団体・企業」については、これまで我々「推薦団体」との連携事業等を通じて、地域の活性化等に寄与してきました。よって、シーニックバイウェイ北海道と民間企業等との効果的連携活動に資する団体として推薦いたします。

一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター

原文宏 印

※提出にあたっては、別紙の記載方法を参照してください。

北海道遺産協議会との包括連携協定について(シーニックバイウェイ北海道)

- **シーニックバイウェイ北海道**は、景観・シーンの形容詞「シーニック」と、わき道・より道を意味する「バイウェイ」を組み合わせた言葉で、**地域に暮らす人が主体**となり、**企業や行政と協力し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり及び観光空間づくり**を推進
- **北海道遺産**は、豊かな自然はもちろん、北海道に生き、暮らしてきた人々の**歴史や文化、生活、産業**など、**次の世代へ大切に引き継ぎたい有形・無形の財産**の中から**道民参加で選んだもの**(平成13年10月に第1回選定分25件、平成16年10月に第2回選定分27件、平成30年11月に第3回選定分15件が選定され、**現在67件が選定、※現在、第4回選定実施中**)
- **シーニックバイウェイ北海道ルートに関連する遺産：41件**
 稚内港北防波堤ドーム(稚内市)、天塩川、旭橋(旭川市)、小樽みなとと防波堤(小樽市)、昭和新山雪合戦(壮瞥町)、五稜郭と箱館戦争の遺構(函館市)、旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群(上士幌町)など

今回の協定の概要

NPO法人北海道遺産協議会



北海道遺産
Hokkaido Heritage

- 2001年の発足以来、地域の担い手・企業・行政と連携した遺産の保全活用の取組み
- 地域を支援する仕組み(「ほっかいどう遺産WAON」)
- 道内外の専門家等ネットワーク



稚内港北防波堤ドーム



天塩川



旭橋



小樽みなとと防波堤

シーニックバイウェイ北海道



- 北海道の景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活用した取組
- 地域の住民、NPO、企業、行政等多様な主体が一体となった推進体制
- 全国的なネットワーク(日本風景街道)等



地域資源を活かした取組



多様な主体の連携による取組

包括連携協定に基づくより一層の連携した取組により北海道の地域の未来に貢献

連携テーマ

- PR：それぞれの取組の中で積極的に遺産やルートの紹介を行う(イベント時の連携等)
- 教育：子供たちが地域の成り立ち(地域遺産、インフラ等)を学ぶ学習機会の提供※
- 観光：インフラツーリズム、ヘリテージツーリズムの取組

※NPO法人ほっかいどう学推進フォーラムとの連携

北海道遺産構想とは

私たちの周りには、普段は気づかないけれど、本当は大きな価値を持つ宝物がたくさんあるのではないのでしょうか。豊かな自然はもちろん、北海道に生き、暮らしてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、次の世代へ大切に引き継ぎたい有形・無形の財産の中から道民参加で選んだものが「北海道遺産」です。

そして、掘り起こされた宝物を地域で守り、育て、活用していく中から新しい魅力を持った北海道を創っていきたい—それが「北海道遺産構想」の目標です。

遺産という言葉には「過去のもの」というイメージがありますが、北海道遺産は地域の未来を創造していく「資産」なのです。

平成13年10月に第1回選定分25件、平成16年10月に第2回選定分27件、平成30年11月に第3回選定分15件が選定され、現在67件が選定されています。

「遺産」の選定

「遺産」の保全と活用

「遺産」を活用した地域づくり

新たな魅力を持った北海道の創出

北海道遺産の歩み



第1回選定期 (H11～14年度)

第2回選定期 (H15～17年度)

H18年度～

H29年度～

選定地域による北海道遺産を活用した地域づくり活動

名称の定着・知名度の向上

観光資源・教育素材としての可能性

ブランド
北海道の魅力
として定着を目指す

地域遺産の価値を多くの人々と共有する
シェアリングヘリテージ

北海道遺産(67件)の分布図

2022年9月末現在

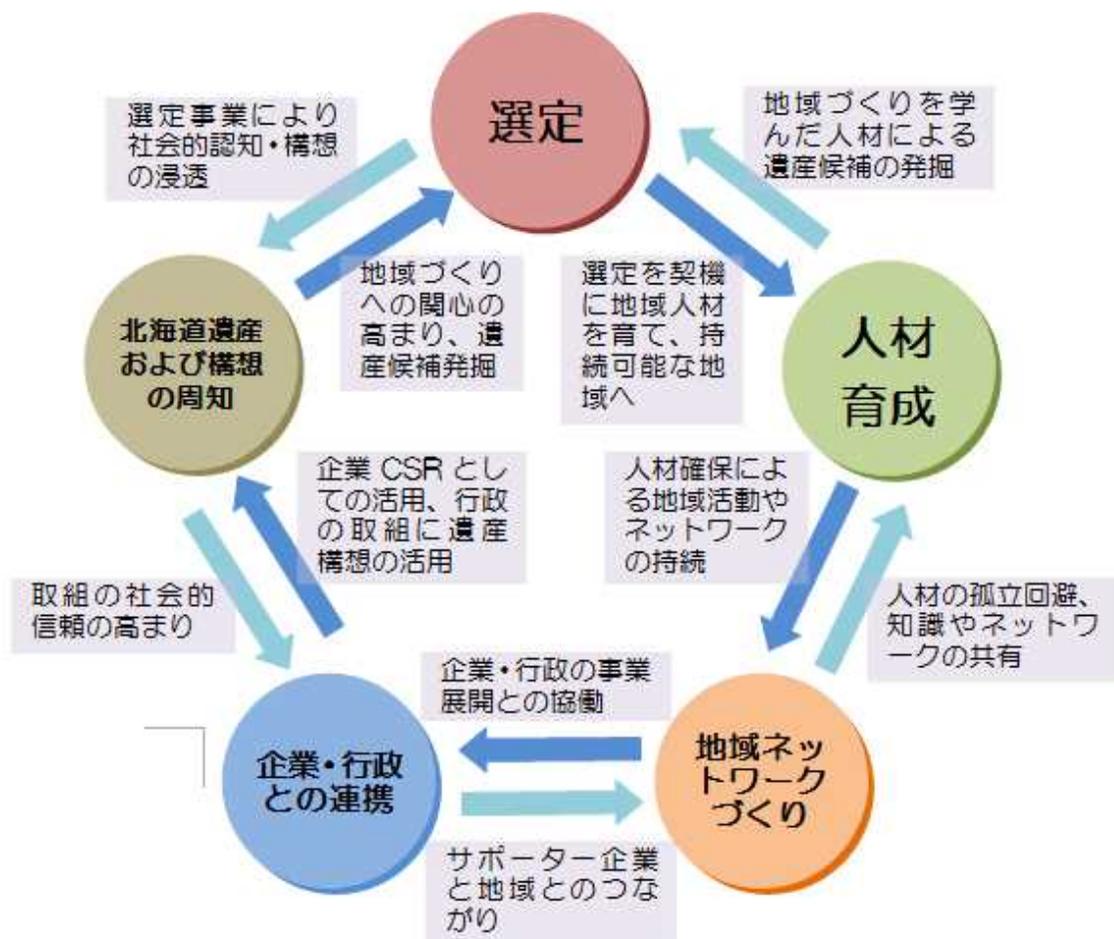


67の遺産のうち

シーニックバイウエールートに関連する遺産41件



北海道遺産協議会の活動イメージ



- 北海道独自の文化等の価値を認め（選定）、周知することで北海道の魅力を発信する
- 北海道で地域の文化・歴史・なりわい・風土などを大切に守り、伝え、それを通じて地域活動を行っている人々の活動を支援する
- 北海道遺産を活用しながら人づくりや地域づくりを行うことで、地域の活性化、持続可能な地域づくりにつなげる
- 「北海道遺産」を共通用語として、地域活動団体の人的つながりをつくり、持続可能な活動に向けた仲間づくり、情報や知識の共有ができる地域づくりネットワークを構築する
- 北海道遺産ブランドの価値維持・価値アップを図り、北海道遺産が地域にとって有用なブランドとして位置付ける

普及啓発活動(PR)

・北海道ヘリテージウィーク



北海道遺産のパネル・パンフレットの展示



フォトコンテスト入賞作品展示

・スタンプラリー



北海道遺産
Hokkaido Heritage

札幌市内の北海道遺産

北海道遺産
おさんぽスタンプラリー

札幌市内には北海道遺産として選定されている文化遺産がたくさんあります。トコトコお散歩しながらぜひ訪れてみてください。

スタンプラリー期間
10/6(土)～1/31(木)
2018/10/6(土)～2019/2/28(木)

5施設のスタンプを集めると、抽選プレゼントに応募できます。詳しくは裏面をご覧ください。

地域の担い手のネットワークづくり



札幌市内
北海道遺産
おさんぽ
スタンプマップ

北海道遺産って知っていますか？

北海道の豊かな自然、先人の歴史や文化、生活、産業など、次の世代に大切に引き継ぎたい有形・無形の財産の中から道民参加で選んだものが「北海道遺産」です。札幌市内には北海道遺産として選定されている文化遺産がたくさんあります。トコトコお散歩しながらぜひ訪れてみてください。

5施設のスタンプを集めると、抽選プレゼントに応募できます。詳しくは裏面をご覧ください。

・フォトコンテスト



北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産
フォトコンテスト2022

募集作品テーマ
「あなたが伝えたい北海道遺産」

募集期間
2022年7月17日(日)
9月30日(金)
【当日必参】

「北海道遺産」は、次の世代に引継ぎたい大切な宝物として、有形・無形の財産の中から67件が選定されています。この北海道遺産をテーマにした「フォトコンテスト」を開催します。あなたが伝えたい北海道遺産の四季折々の表情を収めた写真作品のご応募をお待ちしております。

北海道遺産の分布 全67件の中から題材を選んで作品をご応募ください。

第1回選定	第2回選定	第3回選定
1 野幌土器館ゲーム	20 新井太直の昭和民俗学	33 札幌市の自然遺産選定と生活文化
2 野幌のシンボル	21 道庁	34 道庁敷地
3 野幌の歴史博物館	22 道庁敷地	35 三好屋千代文文庫選定と生活文化
4 野幌の歴史博物館	23 道庁敷地	36 札幌市立中央図書館
5 野幌の歴史博物館	24 道庁敷地	37 札幌市立中央図書館
6 野幌の歴史博物館	25 道庁敷地	38 札幌市立中央図書館
7 野幌の歴史博物館	26 道庁敷地	39 札幌市立中央図書館
8 野幌の歴史博物館	27 道庁敷地	40 札幌市立中央図書館
9 野幌の歴史博物館	28 道庁敷地	41 札幌市立中央図書館
10 野幌の歴史博物館	29 道庁敷地	42 札幌市立中央図書館
11 野幌の歴史博物館	30 道庁敷地	43 札幌市立中央図書館
12 野幌の歴史博物館	31 道庁敷地	44 札幌市立中央図書館
13 野幌の歴史博物館	32 道庁敷地	45 札幌市立中央図書館
14 野幌の歴史博物館	33 道庁敷地	46 札幌市立中央図書館
15 野幌の歴史博物館	34 道庁敷地	47 札幌市立中央図書館
16 野幌の歴史博物館	35 道庁敷地	48 札幌市立中央図書館
17 野幌の歴史博物館	36 道庁敷地	49 札幌市立中央図書館
18 野幌の歴史博物館	37 道庁敷地	50 札幌市立中央図書館
19 野幌の歴史博物館	38 道庁敷地	51 札幌市立中央図書館
20 野幌の歴史博物館	39 道庁敷地	52 札幌市立中央図書館
21 野幌の歴史博物館	40 道庁敷地	53 札幌市立中央図書館
22 野幌の歴史博物館	41 道庁敷地	54 札幌市立中央図書館
23 野幌の歴史博物館	42 道庁敷地	55 札幌市立中央図書館
24 野幌の歴史博物館	43 道庁敷地	56 札幌市立中央図書館
25 野幌の歴史博物館	44 道庁敷地	57 札幌市立中央図書館
26 野幌の歴史博物館	45 道庁敷地	58 札幌市立中央図書館
27 野幌の歴史博物館	46 道庁敷地	59 札幌市立中央図書館
28 野幌の歴史博物館	47 道庁敷地	60 札幌市立中央図書館
29 野幌の歴史博物館	48 道庁敷地	61 札幌市立中央図書館
30 野幌の歴史博物館	49 道庁敷地	62 札幌市立中央図書館
31 野幌の歴史博物館	50 道庁敷地	63 札幌市立中央図書館
32 野幌の歴史博物館	51 道庁敷地	64 札幌市立中央図書館
33 野幌の歴史博物館	52 道庁敷地	65 札幌市立中央図書館
34 野幌の歴史博物館	53 道庁敷地	66 札幌市立中央図書館
35 野幌の歴史博物館	54 道庁敷地	67 札幌市立中央図書館

【北海道産】

37 アイヌ遺物	48 札幌市立中央図書館	60 アイヌ文庫	66 千代紙
38 アイヌ文庫	49 北海道立中央図書館	61 ササの文化	67 札幌市立中央図書館の記録
39 札幌市立中央図書館	50 札幌市立中央図書館	62 ジンクス	

作品募集要項・応募用紙につきましては裏面をご覧ください。

北海道遺産の魅力の再発見・発信

普及啓発活動(PR、企業による活用)

・バスツアー (シービーツアーズ)

祝北海道遺産第3回選定!!

『むかわ町穂別の古生物化石群』と
平取町『日本一の野生すずらん群生地』
びらとり和牛バーベキューランチ

■出発日/2019年
5/25(土)・6/1(土)
■添乗員/同行 ■バスガイド/なし
■旅行代金/6,980円(大人お1名様・子供同額)
■募集人員/45名 ■最少催行人員/25名
■食事/昼食1回
■バス会社/北海道中央バス又は
ドリーム観光バス又は同等

バスツアーのポイント!

- ★日本一の広さを誇る『平取町野生・野生すずらん群生地』や北海道遺産選定の『穂別博物館』をたっぷり見学!
- ★昼食は、平取町産品『びらとり和牛』バーベキューです!
- ★今年4月オープン!の道の駅あびのびSDS1ステーションや、むかわ町穂別地区の野菜直売店などお買い物!

むかわ町立穂別博物館
穂別地区で出土したヒナガリユウやアンモナイトの化石を展示。昨年11月に北海道遺産第3回選定として選ばれました。

道の駅あびのび
D51ステーション
農産品や工芸品の特産品、地域の歴史・歴史・文化情報拠点として、4月オープン。鉄道歴史や農産物など大型ディスプレイで展示。たのびる館、鉄道文化を紹介する資料なども展示しています。

むかわ町産品バーベキュー
すずらん群生地に隣接する野生すずらんを堪能できる。開催される人気バーベキューツアーです。
びらとり和牛100%焼肉セット(野菜・おにぎり追加付き)をご用意しています!

<http://www.cb-tours.com>

継続して北海道遺産をコースに組み込んだバスツアーを実施

・JRヘルシーウォーキング

4/27(土) 開館本館 小樽駅

スタート 小樽駅 8:30~10:30
ゴール 小樽駅 10:00~15:00まで

「小樽の鉄道遺産」北海道遺産選定記念!
長橋なえぼ公園と手宮線跡地・小樽ウォーク

POINT

- 長橋なえぼ公園
- 田中酒造本店
- 小樽駅前郵便局(旧小樽郵便局)
- 手宮通り
- 手宮公園
- 手宮線跡地

小樽の花見スポット「長橋なえぼ公園」と「手宮公園」を取り入れたコースです。長橋なえぼ公園には、エゾヤマザクラが約3,000本あり、四季を通じて自然にふれることができる森林公園です。手宮公園もまた、エゾヤマザクラやノメイヨシノなどが約690本あり、散策やハイキングの場として市民に親しまれています。北海道最初の鉄道として、鉄道遺産も多く、昨年11月には「小樽の鉄道遺産」として、北海道遺産に選定されました。コース後半には、手宮線跡地を通りまですので思いを馳せて歩いてみてはいかがでしょうか。

カロリー消費

おにぎり約4.5個分 消費カロリー 約725kcal
おにぎり約3.5個分 消費カロリー 約510kcal

お土産の目安

普通列車 / 札幌駅(7:45発) → 手宮駅(8:03発) → 小樽駅(8:38着)
普通列車 / 札幌駅(7:59発) → 手宮駅(8:16発) → 小樽駅(8:47着)
普通列車 / 札幌駅(8:05発) → 手宮駅(8:24発) → 小樽駅(8:53着)
普通列車 / 札幌駅(8:17発) → 手宮駅(8:35発) → 小樽駅(9:04着)
快速エアポート134号 / 小樽駅(13:00発) → 手宮駅(13:22着) → 札幌駅(13:32着)
区間快速いしかりライナー / 小樽駅(13:10発) → 手宮駅(13:39着) → 札幌駅(13:52着)
快速エアポート140号 / 小樽駅(13:30発) → 手宮駅(13:52着) → 札幌駅(14:02着)
区間快速いしかりライナー / 小樽駅(13:40発) → 手宮駅(14:09着) → 札幌駅(14:20着)

日にちの決まった「イベントウォーク」の他に、いつでも歩くことのできる、「いつでもウォーク」でも北海道遺産コースを設定

○イオングループ「ほっかいどう遺産WAON」（平成23年度～）

- 発行日：平成23年7月28日（北海道初のご当地WAON）
- 発行枚数：約29万枚（2022年6月末現在）
- イオン系列スーパーや「ローソン」、「ファミリーマート」、「セイコーマート」、「ツルハ」、「サツドラ」などで使用可能
- 年間使用額の一部が北海道遺産協議会へ寄付
- 令和3年度寄付金額：1,506万4,478円（累計寄付金額：1億2,775万1,504円）



ほっかいどう遺産WAON寄付・感謝状贈呈式(R2.9.25)

令和3年度「ほっかいどう遺産WAON」助成活動



松浦武四郎絵本普及事業
(テッシン・オ・ベツ賑わい創出協議会)



未来に伝えるアイヌと和人の関係史「蝦夷三官寺」バスツアー (北海道中央バス株式会社)



中世の館の新たな史実を発信！！
子供たちとつくる「懸仏絵本」プロジェクト
(上ノ国観光ガイド協会)



豊平館の3D画像化によるアーカイブ活動
(一般財団法人北海道歴史文化財団)



「根釧台地の格子状防風林」周知事業
(中標津町)



北海道遺産「函館西部地区の街並み」を持続可能にするためのツールの開発・提供「函館カラープロジェクト」
(株式会社函館島)

シーニックバイウェイ北海道との連携実績

○第1回「大好きHOKKAIDO!観光プラン大賞」共催（H18年度、H19年度）

- ・「北海道遺産」「シーニックバイウェイ北海道」をめぐる旅行のプランを募集・選考し、旅行会社によるモデルツアー等を実施。

主催：北海道遺産構想推進協議会、シーニックバイウェイ支援センター

後援・協力：北海道開発局、北海道運輸局、北海道、北海道観光連盟 ※翌年第2回開催



○「ほっかいどう遺産WAON」によるさっぽろサイクルラボの取組への助成（H28年度）

- ・「ほっかいどう遺産WAON」助成事業により、さっぽろサイクルラボ（シーニックバイウェイ支援センター、NPO法人ゆうらん、NPO法人エコ・モビリティサッポロ、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク、サッポロバイクプロジェクト）によるプロジェクト「北海道遺産を巡る都市型サイクリングマップの作成事業」へ助成を行った。

○「お茶で北海道を美しく」キャンペーン（平成22年度～継続中）

- ・企業連携として、(株)伊藤園とコラボし「お茶で北海道を美しく」キャンペーン期間中の売上の一部を北海道遺産に選定されている地域の自然環境保全活動に寄付。
- ・期間中、店頭の販促物などを活用し、さまざまな場面で北海道の自然環境保全活動をクローズアップ。
- ・(株)伊藤園社員の協力により、シーニックバイウェイルートで行われる清掃ボランティア活動等を実施。(洞爺湖周辺(洞爺湖町・壮瞥町ほか)・霧多布湿原(厚岸郡浜中町))



【清掃活動】
支笏洞爺ニセコルート
「1008(洞爺)・453(よごさん)
キャンペーン」(平成22年～)

○第3回選定、第4回選定に関わる審査員参画（平成30年度～継続中）

- ・観光、地域振興、歴史・文化、建築、経済活動等の各分野の専門家、協議会理事、選定ワーキンググループ等を構成して第3回選定、第4回選定の各種審査等を実施。
- ・選定ワーキンググループメンバー【観光・まちづくり】分野として、ルートコーディネーターに参画依頼。

① PR：それぞれの取組の中で積極的に遺産やルートの紹介を行う（イベント時の連携等）

【展開イメージ】

- ①北海道まるごとフェアinサンシャインシティ2022(10/7-11)での連携プロモーション
→首都圏の観光客を対象とした「北海道遺産」ノベルティ及びパンフレット等の配布
- ②シェルフバイウェイ パネル展(10/17-31)での連携プロモーション
→札幌圏の観光客を対象とした「北海道遺産」パネル展の開催

②教育：子供たちが地域の成り立ち（地域遺産、インフラ等）を学ぶ学習機会の提供※

【展開イメージ】

- ほっかいどう学※とのコラボレーションによる教材開発
→写真・データ・冊子・スライド・動画など、教諭のニーズに応じて作成

※NPO法人ほっかいどう学推進フォーラムとの連携

③観光：インフラツーリズム、ヘリテージツーリズムの取組推進

【展開イメージ】

- ①北海道開発局等との連携による取組みの企画
→北海道遺産に選定されている公共施設の役割等に興味を持っていただく取組み(インフラツアー等)
- ②北海道ヘリテージウィークの企画・実施
→第4回選定の新規遺産のPRをはじめ、北海道遺産全体と助成金活動紹介パネル、フォトコンテスト
入選作品等の展示 ※札幌駅前通地下歩行空間を想定